



よねだクリニック所属

高橋 知希

[平成25年4月 入職]

当法人の特徴は、入院・外来診療の中核となる「米田病院」と通院リハビリ施設である「よねだクリニック」からなり、急性期から慢性期の患者さんと関わる事ができることです。

「米田病院」は手術件数も多く、リスク管理や病期に即した理学療法を学ぶことができます。また、患者さんがスムーズに日常生活に復帰できる様、日常生活動作指導や補助具や装具療法も経験することができます。

私は現在、入院施設である「米田病院」に勤務しています。米田病院では、手術後の患者さんをはじめ、地域の急性期病院からの転院患者さんも多く入院されています。そのため、当院では特にチーム医療を重視しています。質の高いリハビリを提供できるよう、他部署への勉強会や看護科とのカンファレンスを行い、患者さんが日常生活に不安なく復帰できるよう、スタッフ一丸となって退院支援を行っております。

また、以前勤務していた「よねだクリニック」では、入院リハビリと異なり、多種多様の症状を持つ患者さんと関わる事ができます。限られた治療時間で病態を評価し把握することは、プレッシャーを感じる反面、日々の臨床を大切に、臨床で得た疑問点を少しずつ勉強することで、着実にレベルアップ出来る環境であると感じております。

臨床外では「変形性膝関節症班」に所属しており、文献抄読や患者さんへの病態説明用のパンフレットの作成などを行っています。医師や放射線技師の方々と意見交換を行うことで、より専門的な知識を深めることができると実感しています。 ※詳しくは下記参照。

このように、当法人では、社会人として成長出来る環境と、運動療法のプロフェッショナルとして成長するために必要な環境がそろっていると感じております。

当院では、医師・リハビリテーション科・放射線科の有志が集まり、「アキレス腱断裂」「成長期腰椎分離症」「膝前十字靭帯損傷」「変形性膝関節症」を中心に毎週朝（診療前の8:00～8:30）に勉強会を行っています。

医師が主体となる全国的な学会などで、リハビリテーション科スタッフが発表することもあります。

もちろん学会発表のためだけに勉強会を行っているのではなく、勉強会や学会参加を通して学問的な考え方を体感し、知識を増やし、個人・病院全体の質の向上に繋げていくことを目的に、日々研鑽しています。